#### 協力隊

## 新春特別対談

加賀新一郎隊員 穂坂修基隊員

### 戸惑いと魅力相馬にやって来て感じた

加賀 8ヶ月がたったけど、相馬に来た当初、 戸惑ったこととかあった? 越してくる前は、カフェで読書し 着任が昨年5月1日。 ちょうど

とかはありませんでした。 ただ、戸惑ったのはそれくら の日課ができなくて、最初の 日々のルーティンでした。わ いで、それ以外に困ったこと 数力月は少し辛かったですね。 かっていたことですけど、そ ムでトレーニングするのが たり公営のトレーニングルー

かったのが第一印象かな。冬の青森県に 来たんだけど、まだ雪が残っていて寒 加賀 僕は個人的事情で2月末に相馬に 衝撃的だった (笑)。 ていたけど、やっぱり雪の多さと寒さは は来たことがあるし、ある程度は予想し

だったよね。 穂坂隊員が越してきたのは4月の下旬

印象になるのがおもしろい。

が初体験。夏には夏泊半島と下北半島を 穂坂 そうです。だから相馬の冬は今年 自転車で一周したり(約450㎞)岩木 くなってからはもっぱらDVD鑑賞です 山環状道路を走ったりしてましたが、寒

ど、ようやく寒さにも慣れてきました。 ころもあって、風邪をひいたりもしたけ てます。最初はちょっと甘く見ていたと とまた別の顔を見せてくれて、全然違う た相馬の景色はきれいだし、雪が融ける (笑)。あ、干し柿や漬物を作ったりもし 寒くて大変だけど、一面白くなっ

とても気に入っているんです。 いった伝統行事で盛り上がれるところが の季節ごとにねぷたまつりやお山参詣と 折々の景色が美しいところが、相馬の大 きな魅力の一つだと思います。その折々 **楒坂** りんご畑と岩木山が織りなす四季







# 「相馬に関心のある (地域外の)人って



#### 今後の展望印象深い取り組みと

に残ってる取り組みはありますか?り協力隊としての活動を小さいながらいここ(『りんごの森』)でも報告したとおこの(『りんごのなどをお手伝いをしたり、

が賀 僕はやはり地域広報誌『相馬ジャーが賀 僕はやはり地域広報誌『相馬ジャークル できた」と言っていただくこともあって、 「相馬凸凹学会」の設立かな。予想以上 できた」と言っていただくこともあって、 「相馬凸凹学会」の設立かな。予想以上

いのかもしれない。
おと、驚いたのは青森市や五所川原市、
あと、驚いたのは青森市や五所川原市、

んごを売ったことですね。の農家さんにご協力いただいて揃えたりで相馬の中学生・高校生と一緒に、相馬穂坂 僕は、「ひろさきりんご収穫祭」

一緒にやった中学生や高校生がいろいろ穂坂 売れたことももちろんですけど、見事に完売したよね。

アイディアを出してくれたりとか、地域

れしかったですね。の活動に積極的に参加してくれたのがう

いいと思ってます。なって、地域の活動に関わってくれれば若い人たちがもっともっと相馬を好きにこれからはこういう機会を増やして、

**速坂** だから、今手はファシノテーターあるかもしれないね。 と組織的に動けるシステムを作る必要がけで一から十まで動くのではなく、もっ**加賀** そのためには、われわれ協力隊だ

思っているんです。 的な役割に重点を置いた活動をしたいと 穂坂 だから、今年はファシリテーター

いいなと思ってます。の組織改編・整理のお手伝いができればたちで存続させていくか考え、そのため既存の団体や行事をどう持続可能なか

**加賀** 他地域の例を見ると、組織形態はいう組織を作れればいいね。

ればいいですね。 穂坂 関係人口を増やす事業なども行え

的に取り組んでいきましょう。れませんが、実現に向けて2年目は本格すぐに形にするのはむずかしいかもし